

馬場化学工業株式会社

事業計画名

小ロットに対応した水菓子（ゼリー、水羊羹など）用容器等
生産システムの開発



機械写真

事業に取り組んだ経緯・背景

食品業界は商品寿命が短く、マーケットニーズに合わせて多種多様な商品展開を短期間で行うことが求められている。ニーズが目まぐるしく変化する業界にも関わらず、水菓子容器は中身が変わっても同じ容量・形状の容器を使用しているため、ラベルだけでは差別化が図れず、商品力に頼っているのが今の食品メーカーである。今後、ご当地商品・季節商品・顧客層別商品・各店独自の商品など、小ロット商品の商品企画力が問われることから、容器も市場ニーズに合わせて形状をフレキシブルに変えられ、小ロットでもコスト的に採算可能な容器充填システムの開発が求められている。

事業内容

当社の金型並びにプラスチック成形加工技術を活用し、容器形状（容量と形）を自在に製作できる容器成型機と充填システムを開発し、短時間で容器を作り食品を充填して顧客に提供するシステムを構築する取組みを実施した。



製品写真

【1】水菓子（ゼリー、水羊羹等）用新容器の開発

多種多様な商品展開の中、小ロット商品の商品企画力を活かす新容器のデザイン開発を行う。真空成型用金型の設計は、当社の金型製造技術資源を用いる。新容器デザインの開発については、意匠性開発の一環として金沢美術工芸大学と連携を行う一方、デザイン手法の蓄積を行う。

- ①金沢美術工芸大学との産学連携により、水菓子用新容器のデザイン開発を行う。
- ②中間プレゼンテーションにて27デザインのプレゼンテーションが行われる。その後、当社での製造技術や話題性、市場性を鑑み
- ③提案された容器デザインの絞り込みを行う。
- ④絞り込んだ容器デザインを当社にて試作し、金沢美術工芸大学へ提供。

⑤金沢美術工芸大学にて更なるデザインのブラッシュアップを図る。

⑥最終プレゼンテーションにより水菓子新容器の提案が行われた。

【2】小ロット水菓子用新容器成型の開発と改良（治具の製造と成型金型の改良）

新容器においては、従来の水菓子用容器には見られない複雑な形状や質感が要求される。当社が保有する金型加工技術、真空成型技術を活用するとともに、治具の製造や成型金型の改良等を行い、成型品の精度を上げるため最適化条件を導き出す。

【3】小ロット水菓子充填機・付帯設備の試験と評価

充填機および付帯設備においては、食品製造に適う安全性を有した材質（酸化しない材質他）かどうか検証を行い、専門家の指導を仰ぎながら最適素材を選定し、当社金型ならびに抜型製造技術を活用して、新容器の形状に合致した付帯設備を製造する。また、充填機装着時の設置条件（クリアランス等）について検証し、安定して商品が充填・製造できる最適化条件を探る。

食品の腐食原因の一つとなる、シールの剥がし強度に関する検証実験を行った。石川県工業試験場などの指導の元、強度と剥がしやすさを兼ね備えたシールの条件を検証した。

事業の成果

少ロットで多種多様な商品を求める全国の菓子メーカーや、流通量が僅かなために大手水菓子製造メーカーの生産ラインにのらないような地場商品など、少量生産分野を狙い営業活動を行う。当社の真空成型トレー販売にて取引実績がある全国菓子メーカーの他、ご当地商品の市場拡大や新たな商品展開を目指すJA等の組合など、あらゆる可能性を模索しながら市場を見つけ、全国の地場の食文化を広く支援する。

事業の現在の状況

- ・金沢駅内において、ゼリー商品の「鼓の果」「涼菓 彩紙ふうせん」が昨年より販売好調である。工場も夏季はフル稼働していた。秋に向けて販売量が減ることから、販売先となる新たな店舗を探さねばならない。付加価値の高い生産体制と製品の品質を担保しながら、その場で顧客が製造工程を見学できるようなモデル工場づくりを目指す。
- ・高度な食品加工工場として、容器だけでなく実際の製品づくりにもコミットメントできるようにしていく。



代表取締役 馬場 貢

馬場化学工業株式会社

- ◇代表者名 代表取締役 馬場 貢
- ◇設立年月日 昭和59年8月1日
- ◇所在地 〒920-0219 金沢市かたつ12番地
- ◇TEL：076-238-2332（代表）
- ◇FAX：076-237-0510
- ◇URL：www.babakagaku.co.jp
- ◇E-mail：info@babakagaku.co.jp
- ◇従業員数 145人（製造関連会社含む）
- ◇資本金 30,000千円

【得意分野】

プラスチック成型品の製造・販売
特注工業部品・食品トレー及び容器の製造・販売

【商品】

工業用トレー、食品用トレー 他

【代表者から一言】

安全安心を基本に、進みすぎず、遅れすぎず、有りそうで無いもの、出来そうでできないものに挑戦し続けます。



社屋写真